

執筆者一覧（掲載順）

石 井 和 帆	神奈川県立歴史民俗資料学研究所 博士後期課程
万 建 中	贛南师范大学“井冈山学者”特聘教授；北京师范大学文学院教授， 博士生导师
彭 国 躍	非文字資料研究センター研究員 神奈川県立外国語学部中国語学科教授
孫 安 石	非文字資料研究センター研究員 神奈川県立外国語学部中国語学科教授
内 田 青 蔵	非文字資料研究センター長 神奈川県立工学部建築学科教授
鍋 田 尚 子	非文字資料研究センター 2015年度奨励研究採択者 神奈川県立歴史民俗資料学研究所 博士後期課程
根 敦 阿 斯 尔	非文字資料研究センター 2015年度奨励研究採択者 神奈川県立歴史民俗資料学研究所 博士後期課程
程 亮	非文字資料研究センター 2015年度奨励研究採択者 広東外語外貿大学専任講師 神奈川県立歴史民俗資料学研究所 博士後期課程
姜 明 采	非文字資料研究センター 2015年度奨励研究採択者 神奈川県立工学部建築学専攻 博士後期課程
游 舒 婷	非文字資料研究センター 2015年度奨励研究採択者 神奈川県立歴史民俗資料学研究所 博士後期課程

■編集後記

『非文字資料研究』第14号をお届けします。今号はきわめて大部のものになってしまいましたが、精力的な活動が進められている証左ではないでしょうか。

まず第三期（2014-2016年度）の共同研究活動報告を掲載しています。九つの班ではさまざまな活動が展開されましたが、公開研究会や論文、絵引等の成果刊行物では示せなかった、班内の研究会や現地調査などで得られた知見もここでまとめられています。こうした活動を踏まえた第四期の活動も進行中ですので、今後ともご意見やご助言をいただけると幸いです。

紀要の核とも言うべき個人研究論文については、本号では5編出揃いました。内容も視覚資料論から言語景観分析、班活動に関連した研究報告などヴァリエティに富んでいます。方法においても分析対象においても多様であることが、『非文字資料研究』の大きな魅力ではないでしょうか。

また毎年のように、若手研究者の奨励研究成果論文も5編収録しています。新しい研究者の育成、また広域にわたるフィールドワーク活動への援助も非文字資料研究センターの事業の中心であり、『非文字資料研究』に飛び立つ『海外招聘・派遣事業報告集』と題された刊行物を、今年度新たに発行しました。併せてお読みください。

年一回から年二回に紀要の発行を増やすことで、一号あたりの掲載論文も増え、研究活動はますます盛んになっています。今後も春・秋の発行を目指していきますので、積極的なご投稿をよろしく願いいたします。（熊谷）

■表紙説明

本号の表紙は、1930年代の上海のバンドを背景とした最も有名な景色の一つである第一次世界大戦を記念する「The War Memorial」（中国名は「欧戦争勝利記念碑」または「和平女神像」が、日本名は「戦勝記念碑」がそれぞれ用いられた）を掲載した。この「戦勝記念碑」は、第一次世界大戦に参戦し、命を落とした上海在留の外国人を記念するために制作されたもので、Stewardson & Spenceのデザインと建築で完成し、1924年2月16日、盛大に除幕式が行われた（The North - China Herald and Supreme Court & Consular Gazette, Shanghai, 23 Feb 1924）。「戦勝記念碑」はその後、上海のバンドを代表する風景の一つで多くの絵はがきや写真集などに収められるようになったが、1943年には女神像の彫刻が破壊され、そのあと、基壇も破壊されてしまい、いまは現存しない。

裏表紙は、第三艦隊司令部『揚子江案内』（1935年4月）が掲載している「第17図 上海市街地図」である。同書は、上海から重慶に至るまでの揚子江の航路を「下揚子江」から「中揚子江」、「上揚子江」に遡り、河川の断面図、海拔、水深などの詳細を記録している。自序によれば、同地図は当初、「大正十五（1926）年重慶冬営中保津乗員に対する説明資料として作製」されたことが分かる。（孫）

非文字資料研究 第14号

The Study of Nonwritten Cultural Materials No. 14

発行日	2017年3月20日
編集・発行	神奈川県立 日本常民文化研究所 非文字資料研究センター 〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 http://himoji.kanagawa-u.ac.jp/
印刷	株式会社 精興社
雑誌コード	ISSN 2432-5481